



第65号（平成28年9月発行）
東海ノア協定事務局
（原子力機構・原子力科学研究所内）
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第65号 をお届けします。

東海ノアでは、今年度も加盟事業所の皆様方との相互協力をもとに、積極的に協力活動を進めていきたいと考えています。東海ノア通信では、こうした日頃の協力活動をよりわかりやすく皆さまに紹介しています。

なお、東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、<http://tnoah.jaea.go.jp/> です。

〔トピックス〕

☆活動状況

- ・ 活動推進幹事会の開催状況
- ・ 自主保安に関する点検協力活動
- ・ 安全教育に係る協力活動
- ・ 情報等の交換に関する協力活動
- ・ 緊急事態を想定した協力活動訓練

☆役員等の変更

☆今後の主な活動予定

東海 NOAH：

「東海」東海村、「N」那珂市、「O」大洗町、「A」旭村（現銚田市）、「H」ひたちなか市

☆活動状況

活動推進幹事会の開催状況

○第76回活動推進幹事会

- ・開催日：平成28年9月29日（木）
- ・開催場所：原子力機構 原子力科学研究所
- ・議題：
 - (1) 第75回活動推進幹事会議事録について
 - (2) 原子力事業所安全協力協定委員等の変更について
 - (3) 平成28年度 自主保安に係る点検協力活動について
 - (4) 平成28年度 安全教育に係る活動について
 - (5) 平成28年度 情報等の交換に係る協力活動について
 - (6) 平成28年度 緊急事態を想定した協力活動訓練について
 - (7) 平成28年度 上期活動状況及び下期活動計画について
 - (8) 東海ノア通信 第65号の発行について
 - (9) その他

第76回活動推進幹事会では、議題（1）から（9）まで説明が行われ、下期活動計画並びに東海ノア通信第65号の発行が承認されました。



第76回活動推進幹事会

自主保安に関する点検協力活動

協定に加盟している事業所を対象に、核燃料物質使用施設、放射性物質取扱施設等の安全担当実務者及び防火管理の担当実務者等からなる専門家を派遣し、安全管理について様々な観点から確認、意見交換を行い、安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

○平成28年度 第1回自主保安点検協力活動

今年度第1回目となる本協力活動は、7月28日に「日本原子力開発機構大洗研究開発センター（JMTR材料試験炉施設）」を対象として実施しました。

点検協力実施者は、日本原子力発電（株）東海事業本部東海発電所・東海第二発電所、三菱マテリアル（株）エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所、（株）ジェー・シー・オー東海事業所からの3名で実施しました。

点検活動は、現場巡視確認及び点検シートに基づいた質疑・応答形式で進められ、質疑・応答の中では、（1）安全管理基本方針、（2）安全管理計画、（3）事業所規則等、（4）教育訓練、（5）緊急時の対応、（6）緊急事態の想定等、自主保安活動として取り組んでいることについて、説明および質疑応答形式による意見交換を行い、考え方や取り組み状況等について確認しました。

点検実施協力者からの自主保安点検活動結果として、「安全確保を最優先に、現場を重視した保安活動や経営層と現場のコミュニケーションの推進、安全作業ハンドブックの配備など、所員一人ひとりが業務に関する法令やルールを遵守し、現場目線で活動に取り組んでいる。」、「現場の4S活動がしっかり行われている。」、「作業責任者の資格認定制度が設定され、保安立会者及び現場責任者への教育・訓練が徹底されている。」などの感想が述べられました。



大洗研究開発センター

自主保安に係る協力活動を行う関係者
左側；被点検実施事業所対応者
右側；点検協力実施者

安全教育に係る協力活動

○安全講演会の開催

日本原子力研究開発機構原子力科学研究所における全国安全週間行事の一環として、平成28年7月21日、ビッグ情報株式会社（元旭化成所属）（工学博士）の山松節男氏を講師に、「化学物質の安全な取り扱いについて」と題する講演会が、原子力科学研究所先端基礎研究交流棟大会議室において開催されました。

講演会は131名の方々が聴講し、東海ノア協定加盟の5事業所からも11名が参加しました。

講演会では、印刷会社での胆管がんの発症事例をきっかけに2016年6月1日から640物質の危険性又は有害性等のリスクアセスメントが義務化されたとの説明がありました。

化学物質を安全に取扱うための基本は、

- ①「有害性とばく露量」を調査する。
- ②「ばく露濃度」を意識する。
- ③「経皮ばく露」を意識する。

ことである。

取扱う化学物質の危険性・有害性をまず調べる習慣を身につけ、ばく露の恐れがないことを調査（確認）することこそが、リスクアセスメントであると説明されました。最後に、リスクアセスメントは、義務との認識を職場に根付かせてほしいと締めくくられました。



〔講演会の様子〕



○自衛消防隊研修会の開催

平成28年9月7日（水）、茨城県立消防学校において13事業所から24名が参加して、8回目となる自衛消防隊研修会を開催しました。

今年度は、参加対象者を自衛消防隊の初心者を中心に募集し、座学として自衛消防隊に関する事項、実習として空気呼吸器等の装着訓練、屋内消火栓の取扱い及び消防自動車からの放水・吸水訓練を、そして総合訓練を行いました。

座学（体育館）



実動訓練（体育館・校庭）



総合訓練（校庭）



情報等の交換に関する協力活動

○事故、トラブル情報の配信

日本原子力発電（株）において、平成28年6月2日に発生した「東海第二発電所管理区域内での放射性廃液の漏れ」に関する原因と対策について、7月25日に公表するとの情報提供があり、発表資料を情報共有の観点から協定加盟全事業所に配信しました。

○安全管理上有用な情報の配信

（1）視察可能な総合訓練に係る情報の提供

協定加盟事業所が行う緊急時を想定した総合訓練のうち、他事業所に公開可能な総合訓練については、今期情報提供はありませんでした。

（2）その他安全管理上有用な情報の提供

平成28年度 茨城県通報連絡訓練の実施状況集計結果を、9月15日に協定加盟全事業所に配信しました。

緊急事態を想定した協力活動訓練

○東海ノア総合訓練の実施

東海ノア協定に基づく平成28年度の総合訓練は、茨城県通報訓練に連動して、8月9日（火）に核物質管理センター東海保障措置センターを発災場所として実施しました。今回の訓練は、昨年度と同様、通報連絡網の確認を実施し、訓練全体を通して混乱などは無く、良好であると評価できる結果を得ることができました。

☆役員等の変更

原子力事業所安全協力委員会

〔平成28年6月30日付〕

	（新）	（旧）
委員	江口 藤敏 日本原子力発電(株)東海事業本部 東海発電所・東海第二発電所長	松浦 豊 日本原子力発電(株) 東海発電所・東海第二発電所長

〔平成28年7月1日付〕

	（新）	（旧）
委員	土山 大輔 日本核燃料開発(株) 代表取締役社長	成瀬 克彦 日本核燃料開発(株) 代表取締役社長

☆今後の主な活動予定

- ・第35回安全協力委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10月
- ・平成28年度 第2回自主保安点検協力活動・・・・・・・・・・ 11月
- ・第77回活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12月

〔編集後記〕

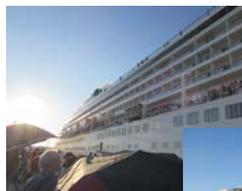
東海ノアの活動につきましては、日頃より加盟事業所皆様のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年は8月から9月にかけて多くの台風が発生し、日本各地に大規模な被害をもたらしました。なかでも台風10号は、ブーメラン台風となって、観測史上初めて東北地方に上陸し、東北や北海道のいたるところで河川の氾濫を引き起こし、道路や線路の流出、家屋の浸水、流出等により多くの犠牲者を出しました。被害に見舞われた皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

東海ノアの活動の一環である、自衛消防隊研修会も台風10号の煽りを受け、雷と豪雨の中実施されました。

しかし、火災は、どのような状況で起こるか分かりませんが、午前中の土砂降りの中行われた実技経験は、今後の自衛消防隊活動にきっと役立つものと思います。

一方、台風10号が通り過ぎた9月10日、豪華客船「飛鳥Ⅱ」が茨城港常陸那珂港区に初寄港することとなり、中央埠頭内では佐和高校吹奏楽部のウェルカム演奏や大洗高校ブルーホークスのマーチング演奏等の入出港セレモニーをはじめ、東海村、ひたちなか市の観光物産フェアなど、おもてなしイベントが秋晴れの下開催され、盛り上がりを見せていました。



H28.910 撮影

最後に、6月30日に日本原子力発電(株)の人事異動に伴い、東海ノア事務局の小板橋 和重から小泉 朗にメンバーが変更になっております。

皆様方には、引き続き、ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

東海ノア通信の目的である「情報の交換・共有」を行いながら、皆様の参考となるよう更に充実図っていきたいと考えています。事務局へのご要望等がございましたら、忌憚のないご意見をお寄せください。

東海ノア通信

東海ノア
(東海 NOAH)

